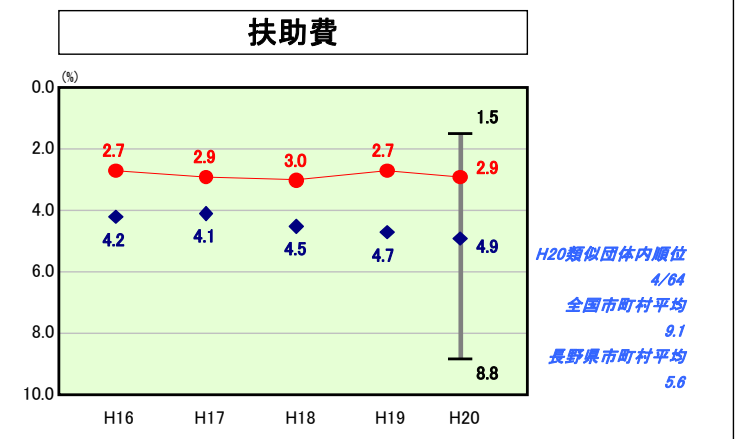
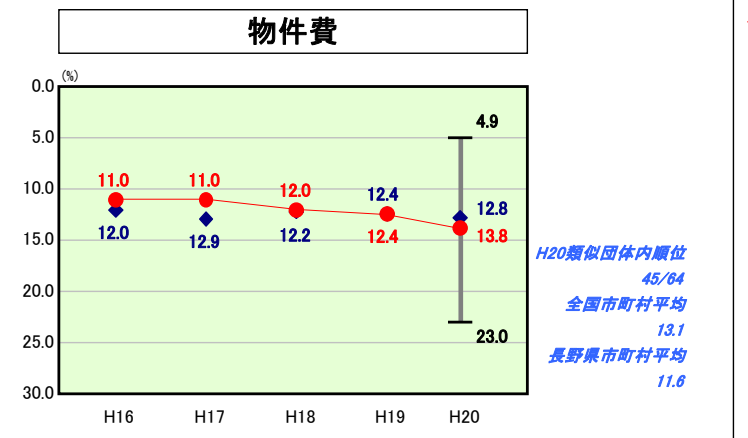
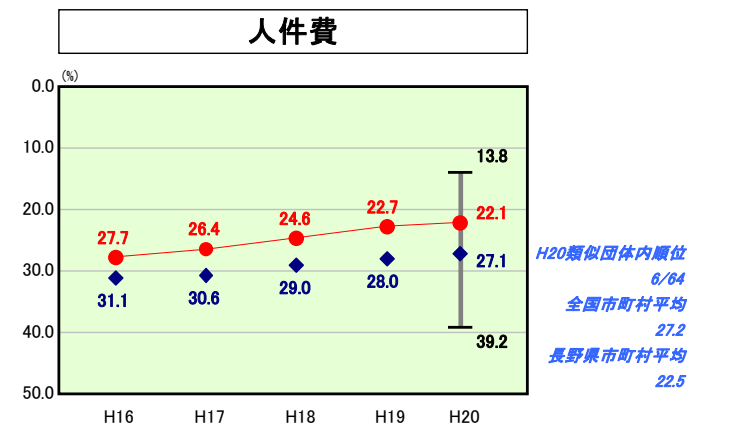
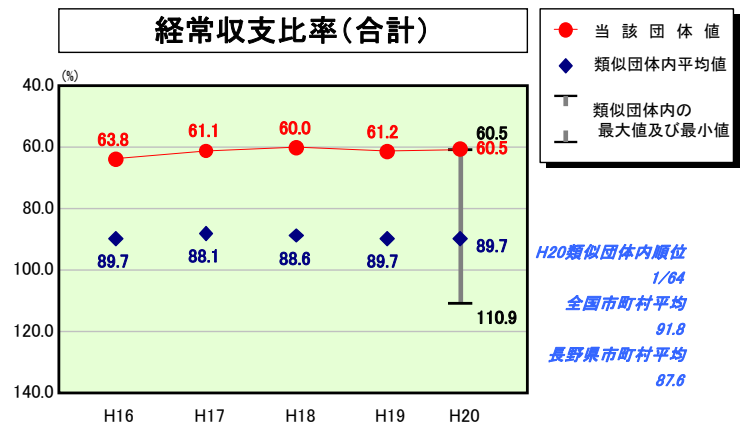
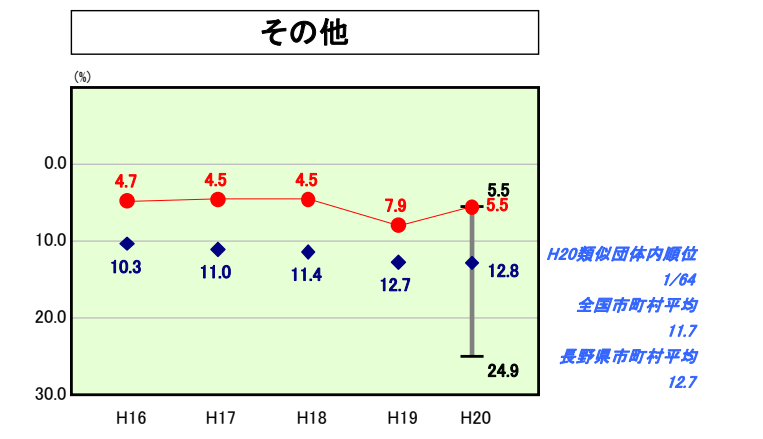
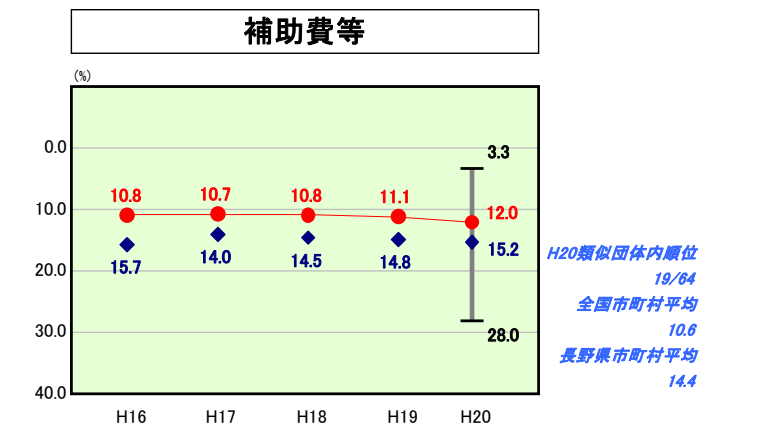
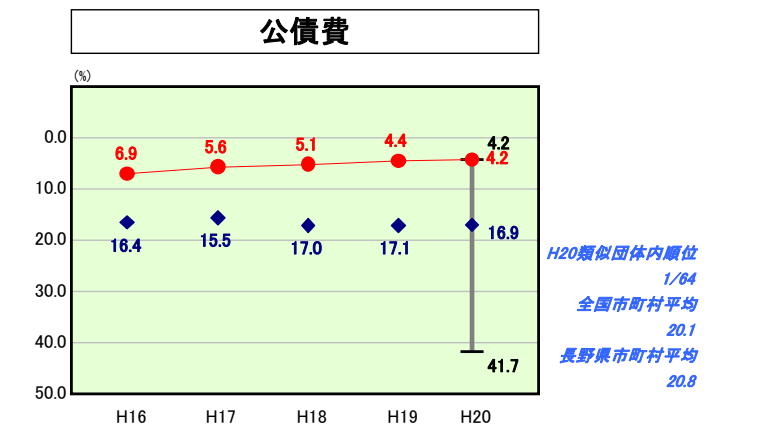
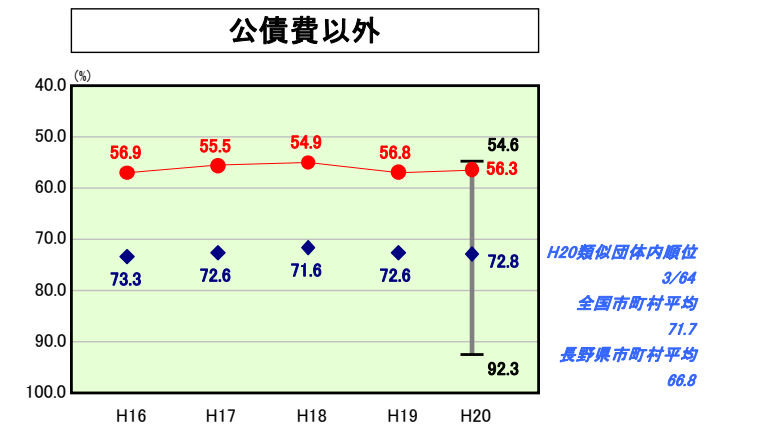
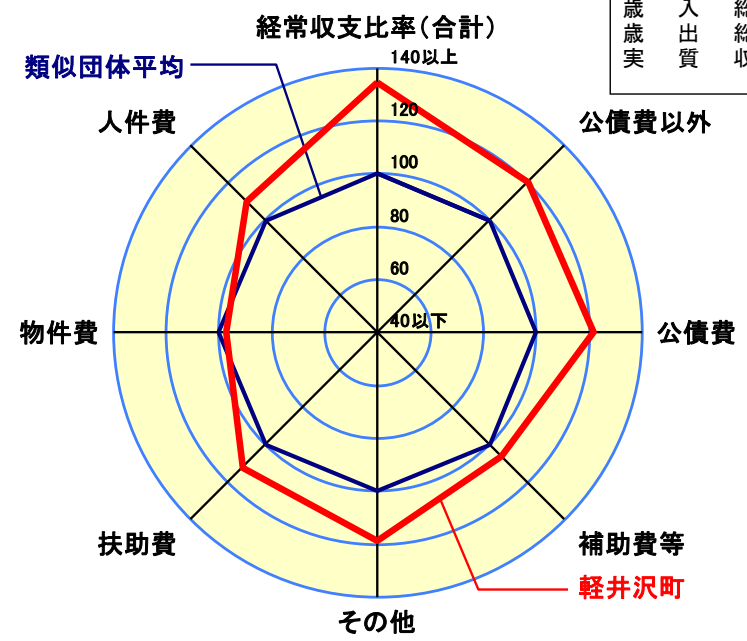


歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

経常収支比率の分析



人口	18,951人(H21.3.31現在)
面積	156.05 km ²
標準財政規模	7,878,541千円
歳入総額	12,712,942千円
歳出総額	11,593,672千円
実質収支	951,555千円



- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

○経常収支比率

各経費個々の経常収支比率はほぼ前年度と同程度であるが、下水道建設工事基金からの基金繰入金が増加したことにより、一般財源充当額が減少したため全体としては前年度をやや下回った。今後、扶助費については保健福祉総合施設「木もれ陽の里」の活用により健康増進、予防に重点をおいた施策を推進し、抑制を図る。人件費については定数管理等により抑制が図られ低下傾向にあるが、物件費については人件費から委託等へのシフト等により、増加傾向がみられる。今後民間委託によって、競争原理によるコスト削減や、電子化による事務の効率化を徹底させ、経費の削減に努めたい。補助費は一部事務組合、他団体への補助・交付金が増加傾向にあるが、「交付に値する適正な事業」あるいは「基準に沿った適正な交付」の観点を持ち抑制に努めたい。

○人件費及び人件費に準ずる費用

人口1人当たりの決算額は類似団体を上回っているのは、保健休養地として年間約770万人の観光客や、別荘滞在者に対する行政需要に起因する部分が大いいためである。現在、第二次適正化計画による職員数の減と時間外手当の縮減に取り組んでおり、今後もこれらを継続していくことにより人件費の抑制に努めたい。一部事務組合の人件費に準ずるものとしては、広域連合分等があるが、今後も人件費に対する補助金として適正であるか確認し、抑制に努める。

○公債費及び公債費に準ずる費用

人口1人当たりの決算額は過去からの起債抑制策により低い水準に抑えられている。現在まちづくり交付金事業が進行中であり、新規借入による地方債現在高の増加は免れないが、充当率を抑制するとともに借入先の検討や他事業における起債発行の抑制等により、財政健全化に努める。公営企業債の償還に充てたと認められる繰入金は、公共下水道事業と病院事業が大いだが、独立採算制の原則のもと、経費の負担区分を明確にするとともに、事業の健全経営に努めることにより費用の抑制につなげたい。

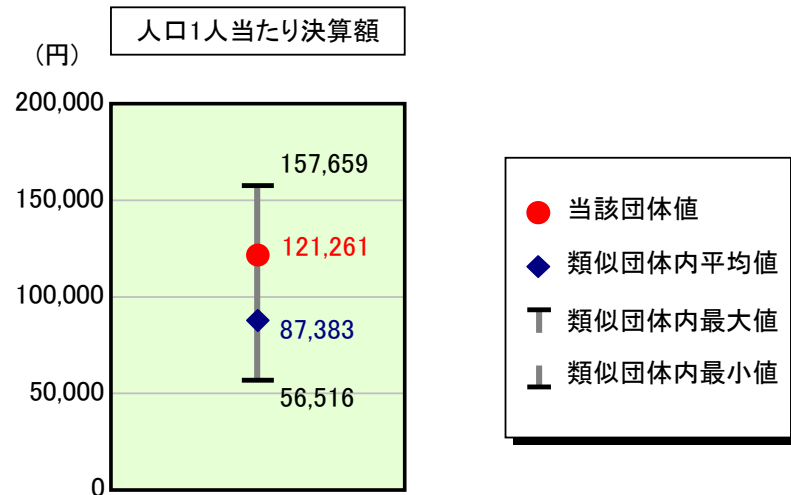
○普通建設事業費

普通建設事業費の人口1人当たりの決算額は類似団体を上回っている。現在、まちづくり交付金事業が進行中であるため、平成21年度以降は普通建設事業費の大幅な伸びが見込まれるが、コスト削減の取組を進めるとともに他事業における優先度等を勘案しつつ取り組んでいく。

歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

長野県 軽井沢町

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



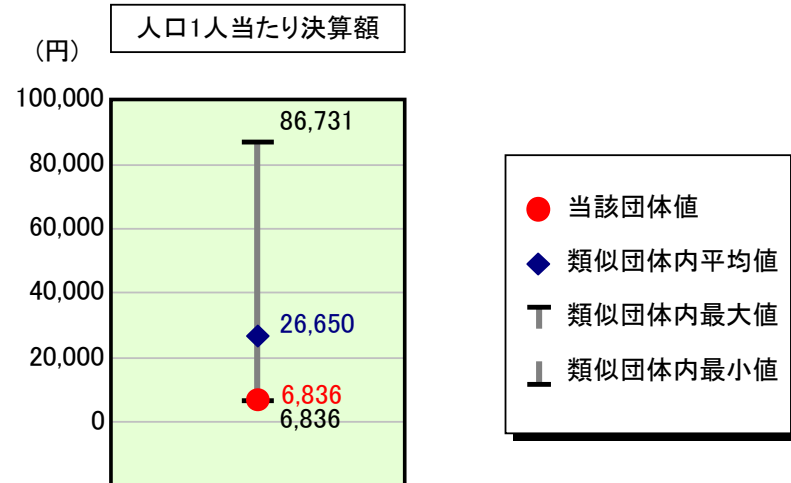
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比 (%)
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	
人件費	1,936,643	102,192	73,465	39.1
賃金(物件費)	176,957	9,338	4,682	99.4
一部事務組合負担金(補助費等)	331,098	17,471	11,769	48.4
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	431	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	1,050	55	3,853	▲ 98.6
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	12,064	637	1,092	▲ 41.7
▲退職金	▲ 159,796	▲ 8,432	▲ 7,909	6.6
合計	2,298,016	121,261	87,383	38.8

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	13.30	7.98	5.32
ラスパイレス指数	94.2	95.7	▲ 1.5

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

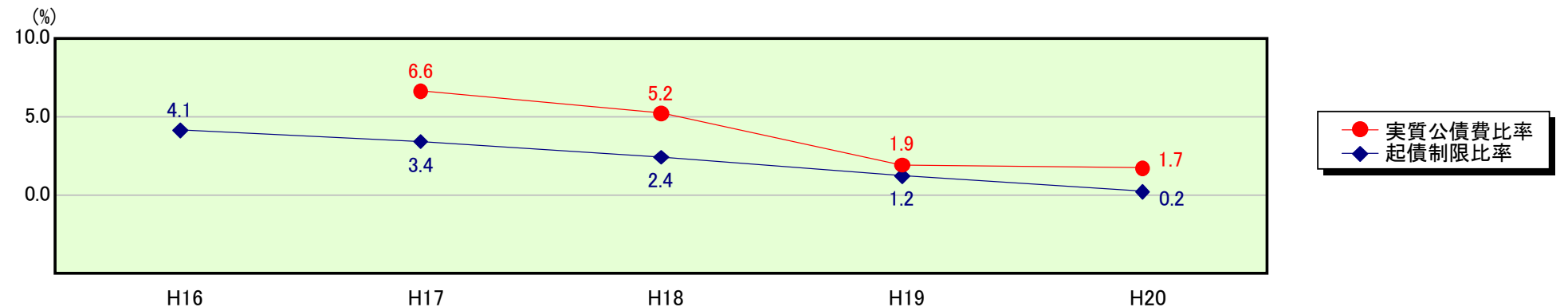


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比 (%)
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	
公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)	123,604	6,522	39,720	▲ 83.6
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等	-	-	-	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	550,328	29,040	11,894	144.2
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	121,436	6,408	6,365	0.7
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	451	24	1,388	▲ 98.3
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	22	-
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 666,263	▲ 35,157	▲ 32,740	7.4
合計	129,556	6,836	26,650	▲ 74.3

平成21年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体については、「-」としている(以下の項目について同じ。)

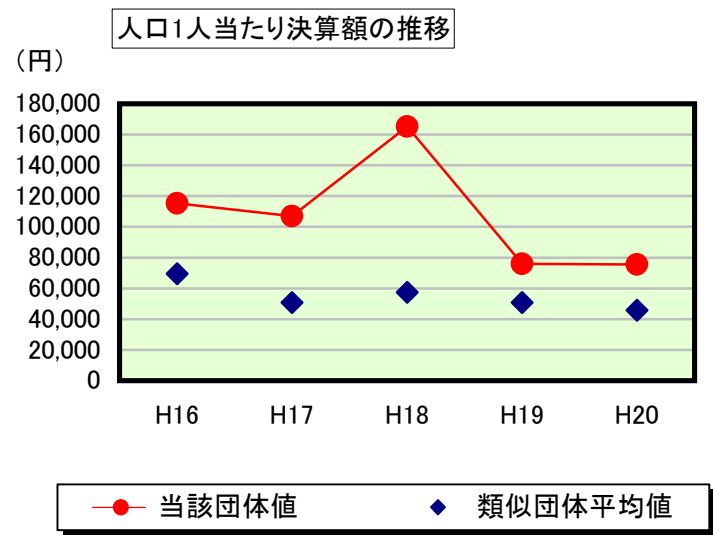
※参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

長野県 軽井沢町

普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H16	2,073,600	115,379	22.9	69,542	▲ 19.1	42.0
うち単独分	1,513,962	84,240	44.6	39,366	▲ 18.6	63.2
H17	1,959,684	106,905	▲ 7.3	50,707	▲ 27.1	19.8
うち単独分	1,518,048	82,813	▲ 1.7	32,323	▲ 17.9	16.2
H18	3,075,595	165,177	54.5	57,400	13.2	41.3
うち単独分	2,401,038	128,949	55.7	34,972	8.2	47.5
H19	1,430,706	75,996	▲ 54.0	50,788	▲ 11.5	▲ 42.5
うち単独分	685,440	36,409	▲ 71.8	26,521	▲ 24.2	▲ 47.6
H20	1,431,749	75,550	▲ 0.6	45,820	▲ 9.8	9.2
うち単独分	756,748	39,932	9.7	22,743	▲ 14.2	23.9
過去5年間平均	1,994,267	107,801	3.1	54,851	▲ 10.9	14.0
うち単独分	1,375,047	74,469	7.3	31,185	▲ 13.3	20.6